

# レース鳩管理システムの構築

995089 小林 直

(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1. はじめに

レース鳩という呼び名はなじみが無いと思われるが、その名の通りレースをする鳩のことである。そもそも伝書鳩と呼ばれていたものが、通信機関の発達によって、伝書鳩の実用性よりも、趣味やスポーツとして飼われるようになり、長距離を飛ぶ能力などを身に付けるように改良されてきた。

この改良には鳩の情報が必要不可欠であるが、この鳩の情報は一羽に対し、脚環番号、作出年月日、作出者、種別、性別、親鳩、羽色、翔歴、血統など多くの情報がある。これらを今までは紙に書いてファイルに保存しておく事が主だった。しかし、この場合では資料作成にかなり時間がかかり、資料が膨大になると管理が大変である。また後に特定の情報を得るのにかなり手間がかかる。

そこで本研究では、そのような問題を解決するために鳩の情報をデータベースに格納し、それを管理するシステムを構築した。

## 2. システムの概要

本システムは、データベースに Microsoft Access 2000 を用いて作成され、画面は Visual Basic Ver6.0 で構築した。

本システムでは、まずメイン画面から鳩新規登録画面、レース新規登録画面、鳩一覧画面、レース一覧画面へ移動できる。

鳩一覧画面では、一覧表から見たい鳩をクリックし、詳細へボタンを押すことで鳩詳細画面へ移動できる。また、脚環番号を入力して検索することもできる。

鳩詳細画面では、現在の鳩の情報を見る事がで

き、翔歴登録画面、翔歴画面、血統画面へ移動できる。

システム構成を図1で示す。



図1 システム構成図

## 3. 評価

本研究は、レース鳩を管理するにあたり、コンピュータに不慣れな人でも簡単に、すばやく行えるようにすることを目的として、レース鳩管理システムを構築した。そこで、本システムの有用性を調べるために、普段あまりコンピュータを利用しない3人のレース鳩飼育者に本システムを実際に使用してもらった。文字やボタンなどが大きく、見やすくてよい、複雑な操作がなくてよい、などの感想を得た。また、鳩の画像が見られたほうがよい、という意見も得た。

## 4. まとめ

血統図や鳩一覧の印刷機能の追加、鳩詳細画面への画像の追加などが今後の課題である。今後これらを改善し、システムの性能と実用性の向上を目指していく必要がある。